

Ⅱ 別紙資料

1. 直接仮設（外部足場）
2. 土工事（根切りの考え方）
3. コンクリート工事（基礎部の打設区分）

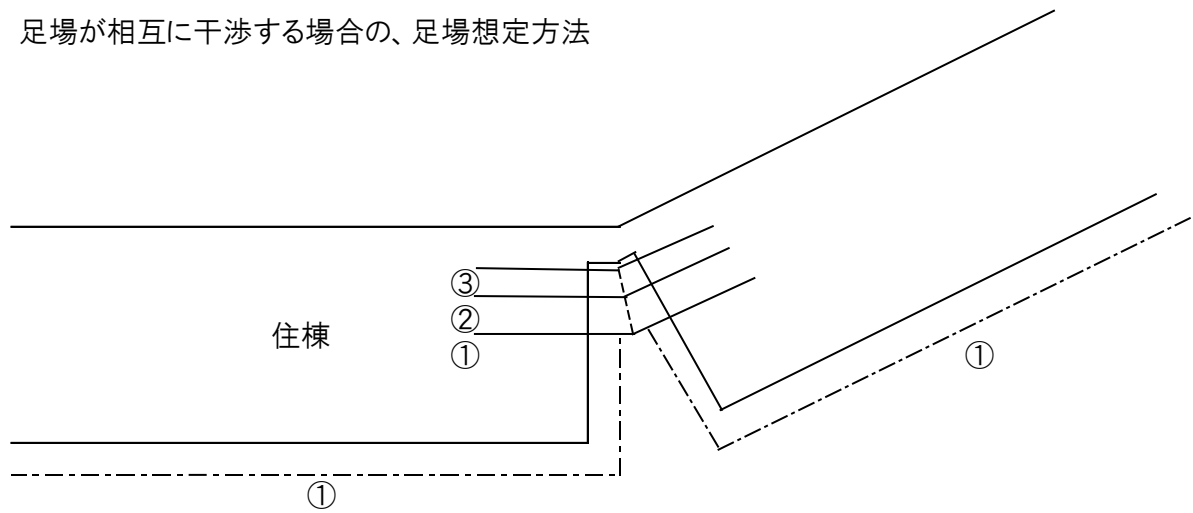
（打設手間算出例）

（ポンプ圧送費算出例）
4. 型枠工事（部位別の計上方法）
5. 鉄骨工事（溶接か所、工場加工組立関係）
6. 木工事（内装パネル張り大工手間の計測方法）

（内装パネルの計測方法）
7. 解体撤去工事（とりこわし数量積算要領、発生材分別表）
8. 改修工事（直接仮設算出例）

1. 直接仮設 (外部足場)

足場が相互に干渉する場合の、足場想定方法



①: 枠組み足場

②: 枠組み足場 シングル

③: 単管足場

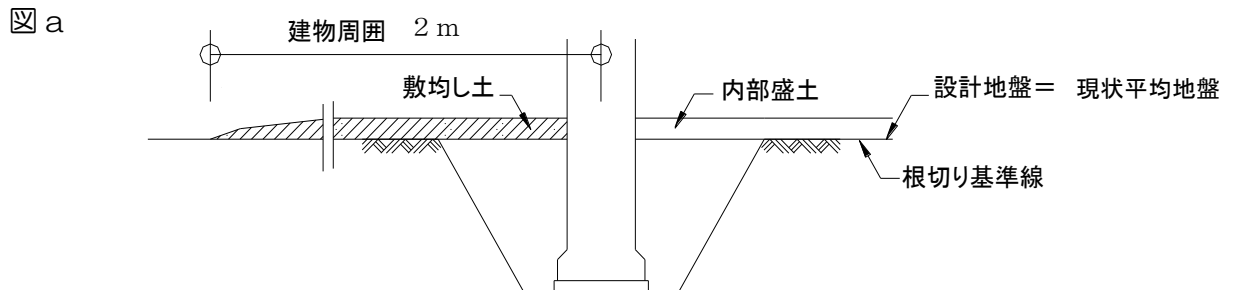
建物間寸法(通芯) W-1300以上2000まで
W-1300未満

2. 土工事 (根切りの考え方)

■土工事の計測計算の根切り基準線は、次の区分による。

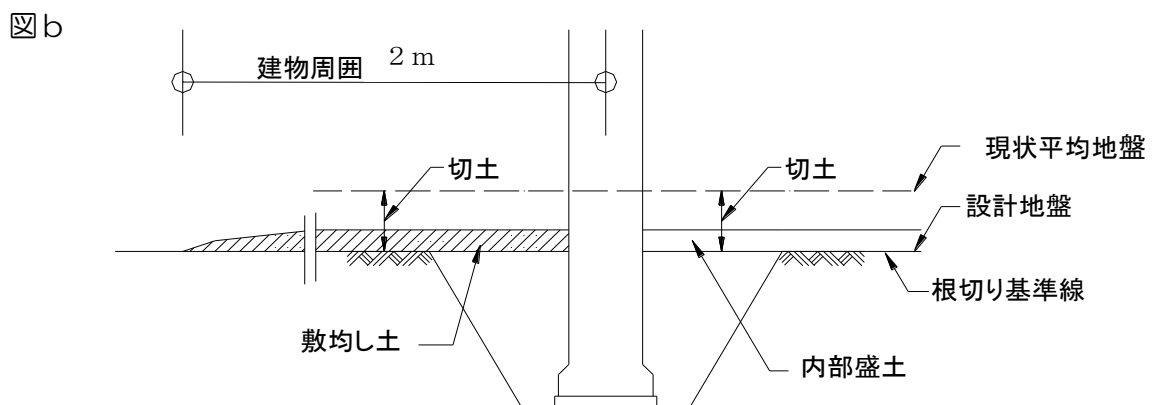
(1) 設計地盤が現状平均地盤と同じ場合

現状平均地盤(＝設計地盤)を根切り基準線とする(図 a 参照)



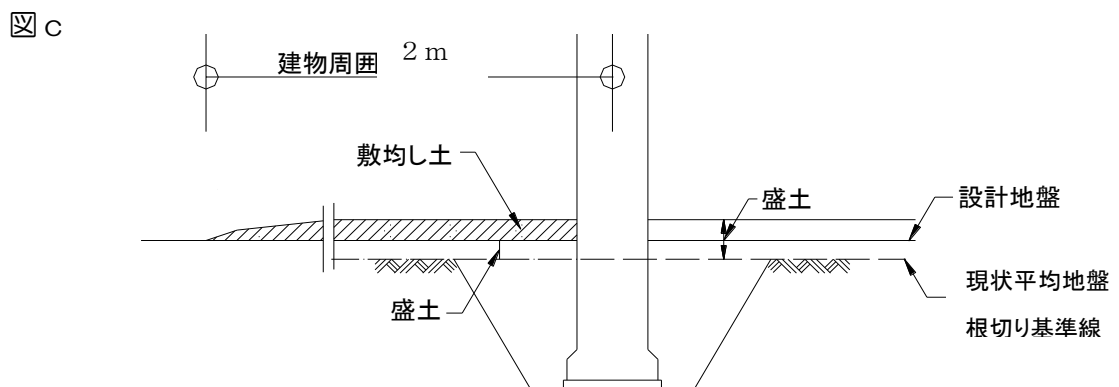
(2) 設計地盤が現状平均地盤より低い場合

設計地盤まで切土とし、設計地盤を根切り基準線とする。(図 b 参照)



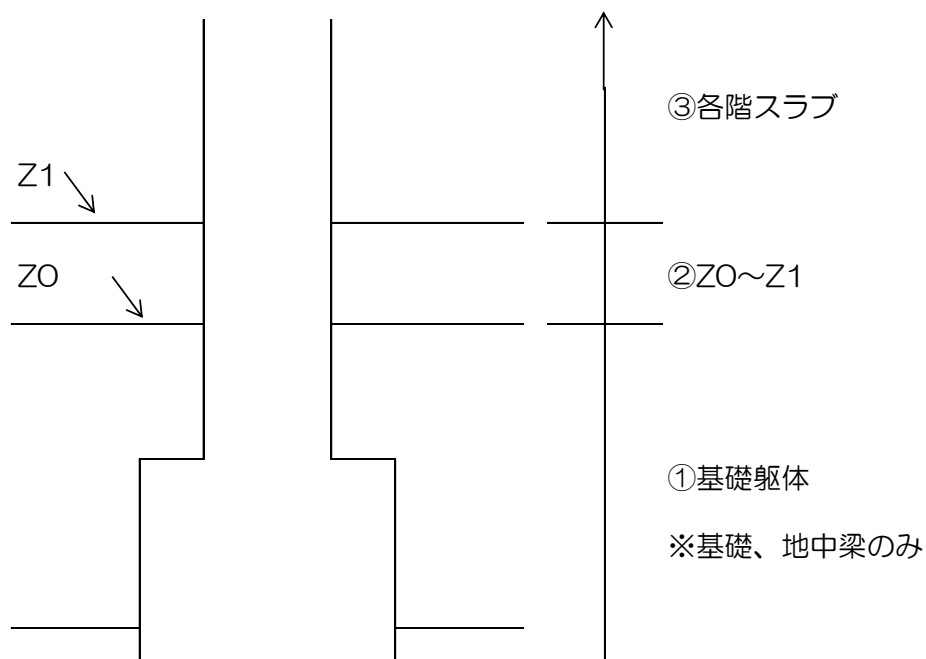
(3) 設計地盤が現状平均地盤より高い場合

現状地盤を根切り基準線とする。(図 c 参照)



【注】 主体として計上 → 建物壁又は柱芯から外周 2m 以内の範囲
屋外として計上 → 上記以外の範囲

3. コンクリート工事 (基礎部の打設区分)



RC造 杭基礎、布基礎

(打設手間算出例)

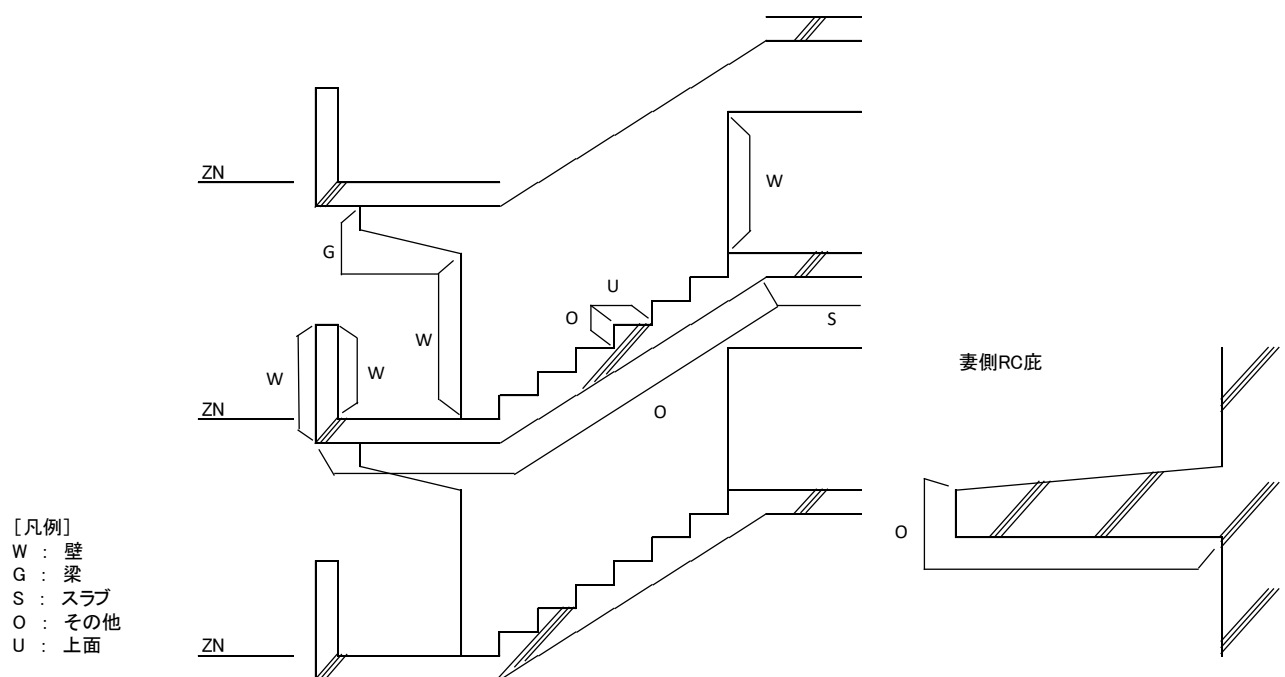
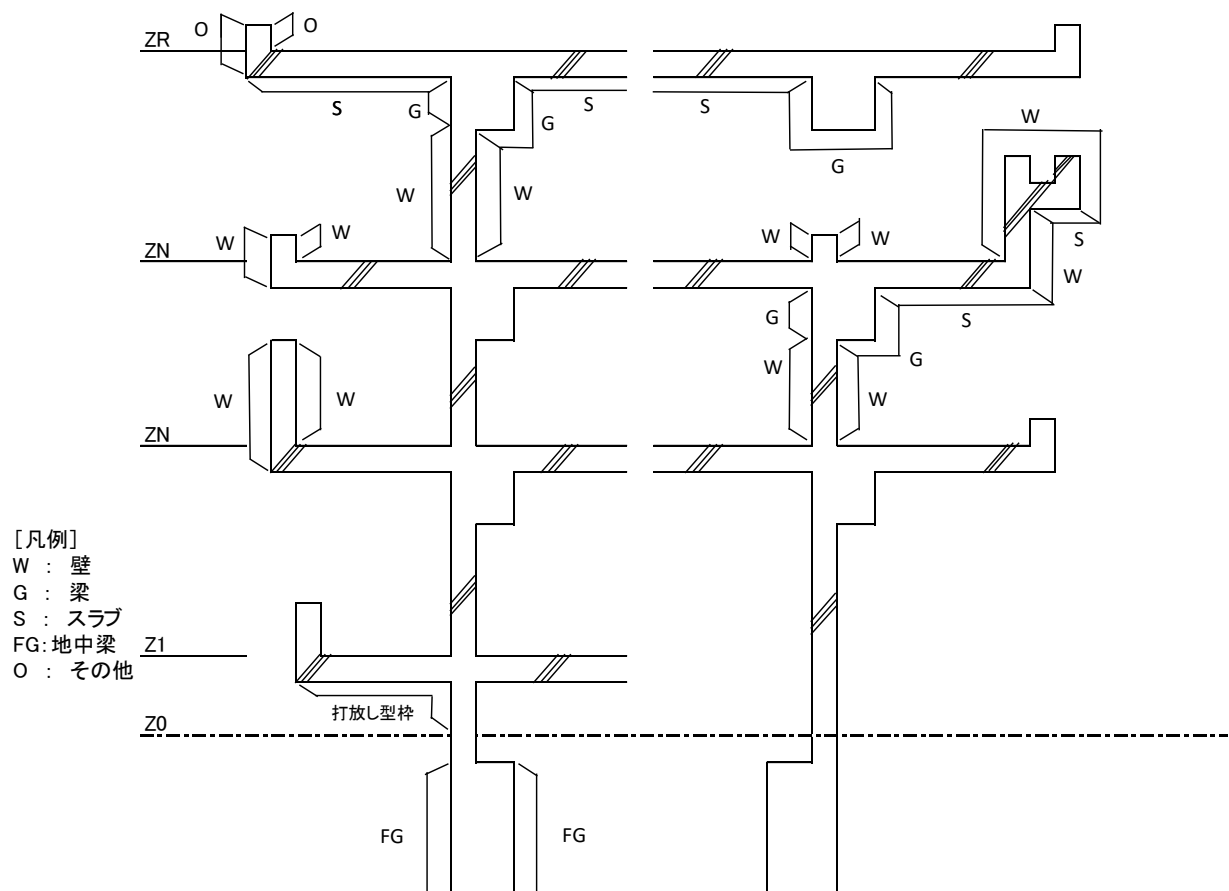
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
土間	ポンプ打設 30～50m ³ /回程度	15.1	m ³	***	***	
捨て	人力打設	8.8	m ³	***	***	
基礎底～地中梁天端	ポンプ打設 100m ³ 以上/回程度	201.3	m ³	***	***	
地中梁天端～Z1	ポンプ打設 50m ³ ～100m ³ 未満/回程度	70.6	m ³	***	***	
Z1～Z2	ポンプ打設 100m ³ 以上/回程度	182	m ³	***	***	
Z2～Z3	ポンプ打設 100m ³ 以上/回程度	170	m ³	***	***	
Z3～Z4	ポンプ打設 100m ³ 以上/回程度	170	m ³	***	***	
...	...	...	m ³	***	***	
Z10～ZR	ポンプ打設 100m ³ 以上/回程度	168	m ³	***	***	
				小計	***	

(ポンプ圧送費算出例)

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートポンプ圧送費	50m ³ ～100m ³ 未満	161.9	m ³	***	***	
コンクリートポンプ圧送費	100m ³ 以上	1765	m ³	***	***	
コンクリートポンプ圧送基本料金	50m ³ ～100m ³ 未満	2	回	***	***	
コンクリートポンプ圧送基本料金	100m ³ 以上	11	回	***	***	
				小計	***	

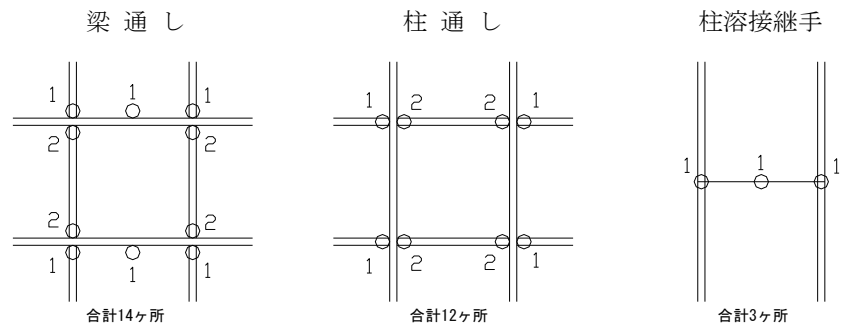
4. 型枠工事 (部位別の計上方法)

型枠の部位別の計上方法

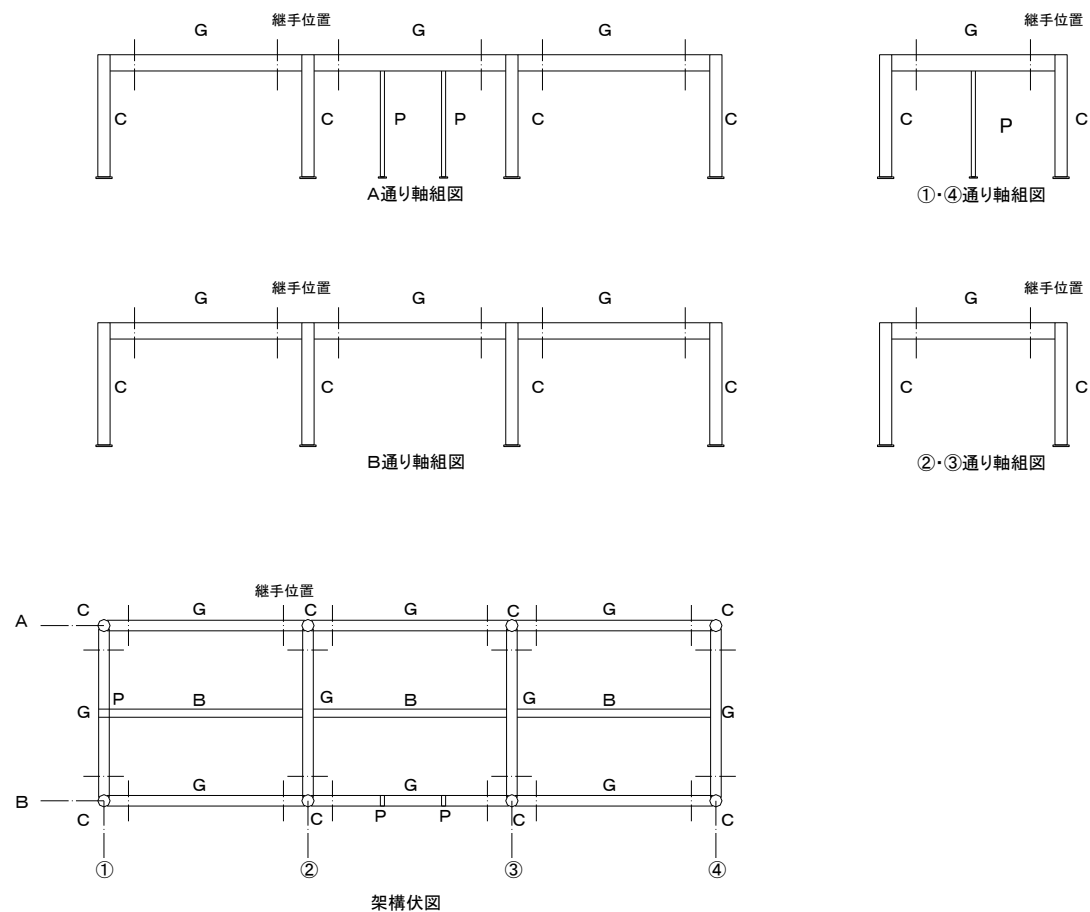


5. 鉄骨工事

（H型鋼の梁通し、柱通しの場合の一般的な仕口の溶接か所を次図に示す。○印の上を示した数字は溶接か所を示す。ただし、板厚9mm 未満は検査対象外とする。）



（工場加工組立て算出するH形鋼の部材数の計算例）



柱 (C)	=	8
梁 (G) (A・B通り)	9 本 × 2 =	18
〃 (①～④通り)	3 本 × 4 =	12
間柱 (P) (①～④通り、及びA・②～③通り)	=	3
小梁 (B)	=	3
部材数 計	=	44 (本)

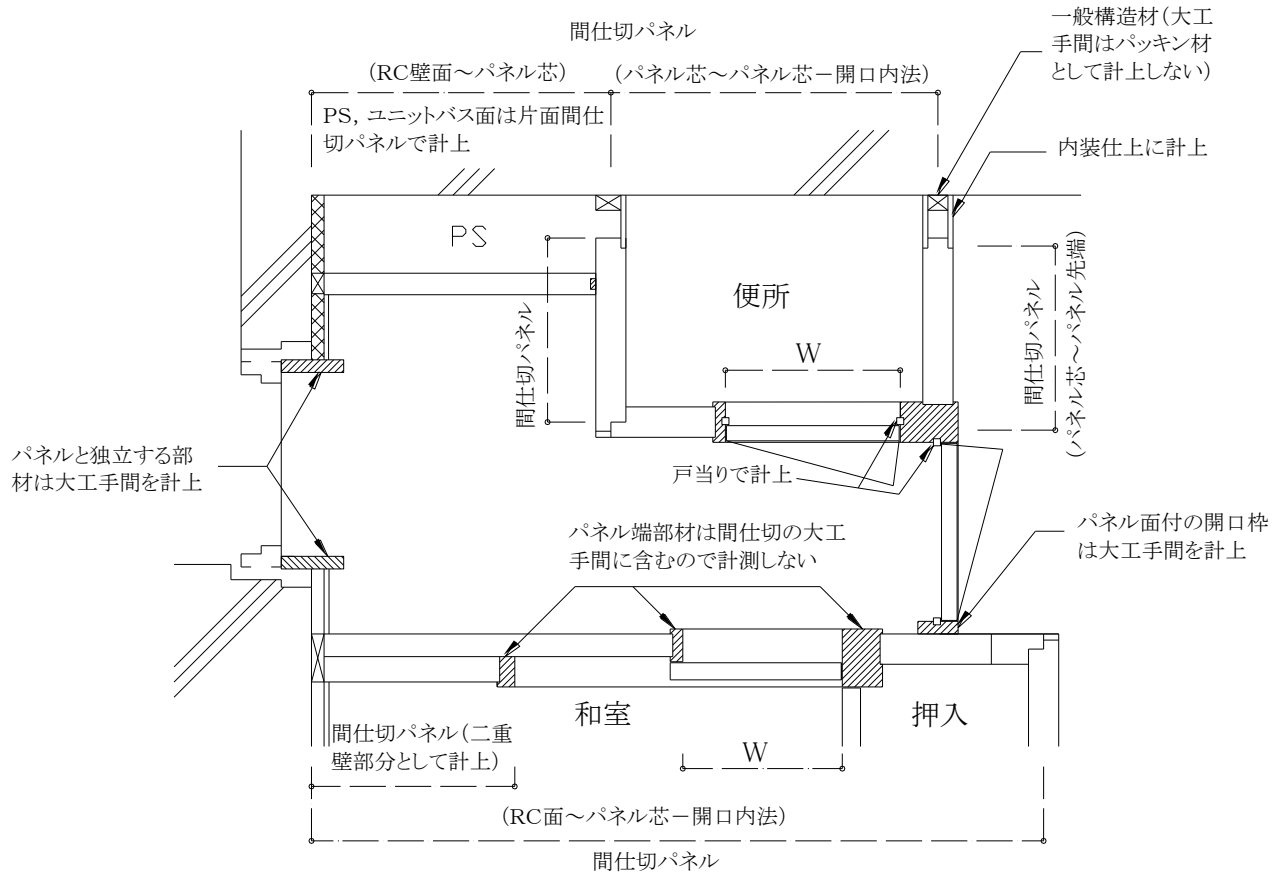
6. 木工事

(内装パネル張り大工手間の計測方法)

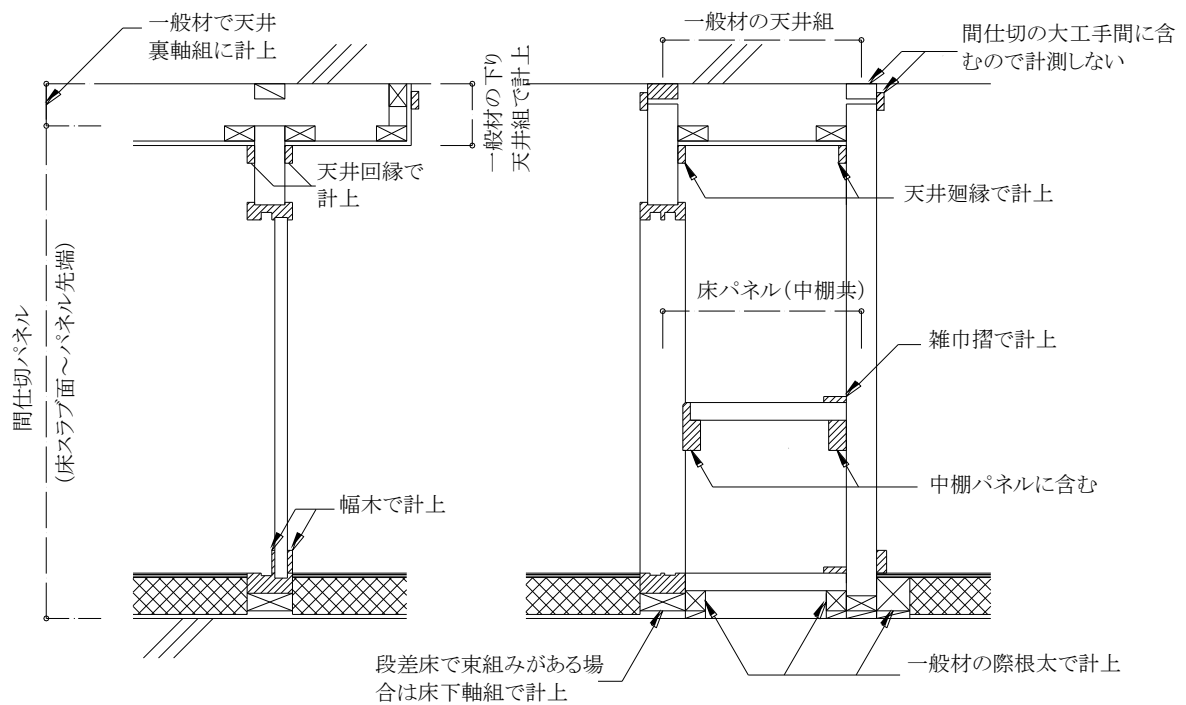
パネル端部に接続するパネル構成材（柱・開口枠・鴨居・廻縁等）はパネル取付費に含むので、計測の対象としない。

部 位	単位	計 上 方 法
間仕切パネル	m ²	- W×Hー開口内法面積 W＝パネル芯又はパネル端部の間隔寸法 H＝躯体の内法高さ寸法。ただし、天井内でパネルを止めている場合、及び床組みによるパネル止めがある場合は、スラブとの間隙寸法を除く。除外する部分は一般構造材の間仕切組又は床組みに計上する。 - 片面パネル（押入部、ユニットバス部、P S部等）、二重壁部分を区分して計上する。
床パネル	m ²	- パネル芯間面積（押入中棚も含める） - 中棚パネルの中框及び受材は床パネルに含むが、床面の一般構造材である際根太及び床パネル受材は、一般加工組立に計上する。
棚パネル	m ²	パネル面積
敷居、中鴨居、鴨居	本	- 摘要欄に柱内法寸法を記入する。 - 片引は（ ）内に開口寸法を記入。 〔例〕 L－1,720（L－820）
開口枠	か所	摘要欄にW×Hを記入し、パネル端部材の部分は破線、パネル面付部及びパネル以外に取付ける部分を実線とする、開口形状を表示する。
柱、半柱		パネルに接続しない柱を通し柱として計上する。パネルが部分的に接続する場合は、内法下、内法上の区分をして計上する。半柱は引戸部分とし、引戸以外は開口枠で計上する。
他パネル部品	m	パネル端部材以外の上框、床見切、幅木、畳寄せ、ボード寄せ、付け鴨居、額縁、補助手摺取付下地、戸当り、壁見切り、廻縁、クーラー受木、物入棚受木、調理台木見切り材等を計上する。

(内装パネルの計測方法)



パネル平面



パネル断面

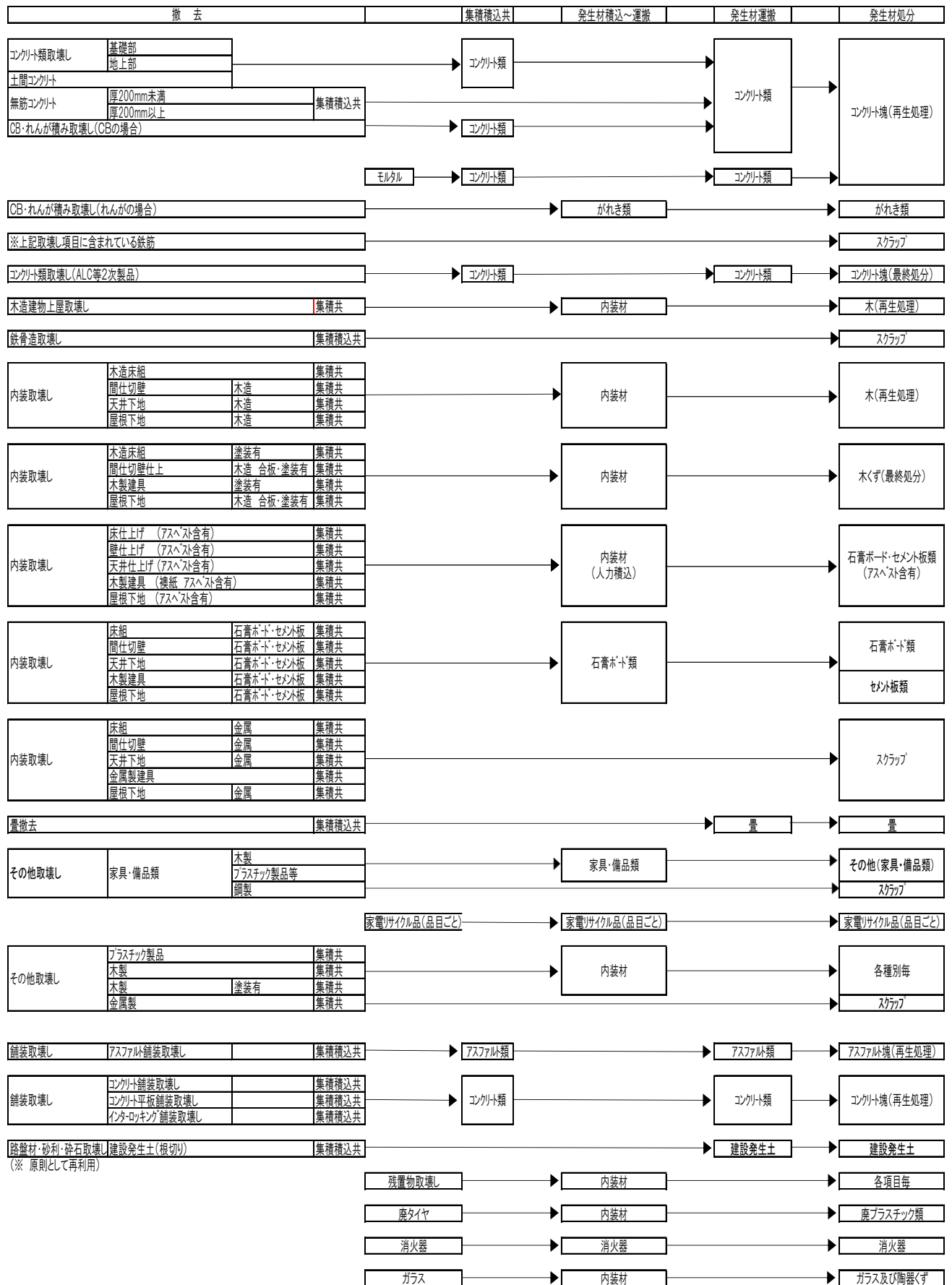
7. 解体撤去工事 (とりこわし数量積算要領)

とりこわし工事 数量積算要領

	発生材分類	内容	単位	数量積算
1	コンクリート塊、コンクリート及び鉄からなる建設資材	コンクリート、PC製品、コンクリート平板、CB、U字溝、会所、コンクリート製インターロッキングブロック、モルタル、軽量コンクリート	m3	・設計数量
2	アスファルトコンクリート塊	アスファルト舗装材	m3	・設計数量
3	木材	構造材、造作材、フローリング材、合板、繊維板、パーティクルボード、集成材、木製建具	m3	・設計数量
4	石こうボード	石こうボード、化粧石こうボード	m3	・設計数量
5	岩綿吸音板		m3	・設計数量
6	塩化ビニル管		m3	・呼び径×長さ 重量も算出すること。
7	ALC板		m3	・設計数量
8	金属くず（スクラップ）			
	鉄	鉄筋・鉄骨	t	・設計数量 ・構造図が不備の場合、鉄筋はコンクリート1m3あたり100kgとして算出してもよい。
		軽量鉄骨下地（壁・天井）	t	・標準的な仕様の場合、3kg/m ² とする。 ・開口補強は考慮しない。 ・特殊な建具の場合は個別に算出する。
		鋼製建具（扉・枠）	t	・標準的な建具重量の換算は以下の通り。 （ドア：25.43kg）（窓：14.13kg） ・特殊な建具の場合は個別に算出する。
	アルミ	アルミ製建具（扉・枠）	t	・標準的な建具重量の換算は以下の通り。 （ドア：5.18kg）（窓：4.86kg） ・特殊な建具の場合は個別に算出する。
	ステンレス	ステンレス製建具（扉・枠）	t	・標準的な建具重量の換算は以下の通り。 （ドア：25.69kg）（窓：14.27kg） ・特殊な建具の場合は個別に算出する。
9	木製建具		m3	・標準的な建具体積の換算は以下の通り。 （襖：0.004m ² /m3） （襖以外：0.014m ² /m3） ・アスベスト含有成形板は区別して計上する。 （襖、クロス：厚さ0.2mmとして計上）
10	塩ビシート、ビニルタイル		m3	・厚さ×設計数量 ・アスベスト含有成形板は区別して計上する。
11	ガラス及び陶器くず	タイル	m3	・厚さ×設計数量
12	セメント板	石綿セメント板、石綿スレート板、押出し成形繊維強化セメント板	m3	・厚さ×設計数量 ・アスベスト含有成形板は区別して計上する。
13	繊維くず	じゅうたん、畳	m3	・設計数量
14	家具・備品類		m3	・縦×横×高さ
15	がれき類	レンガ、スレート瓦	m3	・設計数量
16	廃タイヤ		m3	・見付体積
17	外壁仕上塗材	アスベスト含有	式	・一式見積
18	設備器材		—	・電気、設備担当との拾い区分（指示）による。
19	その他	上記のいずれにも該当しないもの	m3	・少量の雑材は計算しない。
20	建設発生土		m3	・設計数量

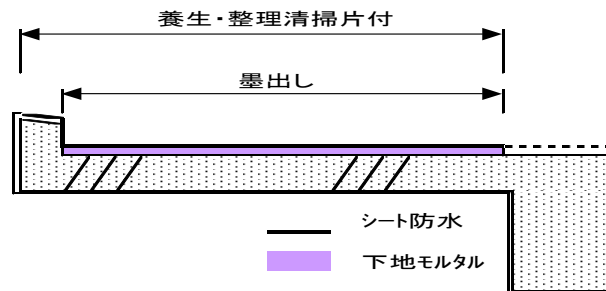
(発生材分別表)

発生材分別表

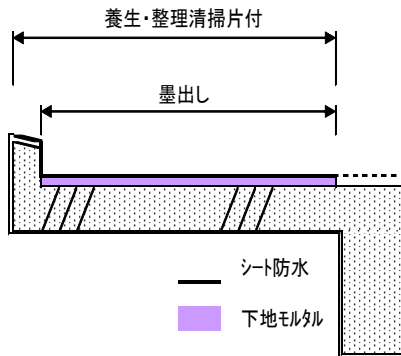


8. 改修工事

(直接仮設算出例)



墨出し 水勾配を調整する平場面積とする。
 養生 塗膜・シート防水を改修する平場面積とす
 整理清掃片付 塗膜・シート防水を改修する平場面積とす



墨出し 水勾配を調整する平場面積とする。
 養生 塗膜・シート防水を改修する平場面積とする。
 整理清掃片付 塗膜・シート防水を改修する平場面積とする。